

平成26年度



学校だより 第3号 チャレンジ&ありがとう

高岡市立木津小学校
平成26年6月18日
発行責任者 森田英宏

新月の夜に

校長 森田 英宏

5年生と一緒に宿泊学習で利賀へ行ってきました。

ちょうど新月（正確には月齢1）の夜だったので、満天の星を見ることができました。遠くの外灯が一つだけで、あとは真っ暗な山に囲まれています。標高の高さに加え、雲もなく、月の光もなく、あまりの美しさに、時間を忘れ眺めていました。流れ星も二つ見ました。

いつもは雲に覆われていたり、月の光に遮られていたりしていることが多いために、星空がこんなに美しいということをついつい忘れてしまっていました。ましてや、毎日の生活の中で、星空を見ること自体忘れていたようにも思います。

こうした機会に巡り合ったことで、あらためて星空の美しさを実感することができました。

さて、本校の子供たちは、いろいろな行事に取り組む中で輝く姿を見せてくれます。これは、利賀でも感じました。

宿泊した交流館の支配人さんは、子供たちの話を聞いている時の眼差しと反応の素直なことを褒めてくださいました。毎シーズンたくさんの小学生に接しておられる中での感想ですから、大変ありがたいことでした。

食事当番の子供が、たくさんの食器を重ねて運んでいた時に、ずっと食器を分けて手伝った当番以外の子供がいました。オリエンテーリングの急坂では、自分も汗を滴らせながら、辛そうにしている友達の手を引く子供がいました。イワナの腹が割けず、じっとうつむいている友達に手を添えてさばき始めた子供がいました。どの姿も極めて自然な振る舞い方に見えました。

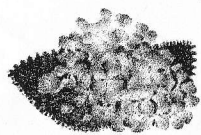
こうした姿は、日常の生活の中では見ることでできない姿かもしれません。宿泊学習という環境だからこそ出会えた姿かもしれませんが、本来その子供の中にあるものが、形となって現れたことには間違いありません。

成長途上の子供たちには、いいところも足りないところも、いろいろな面が見られます。足りないところは目につき易いのですが、いいところは見過ごされてしまう場合も多いように思います。子供を理解するとは、いいところも足りないところも、丸ごと、しっかりと、観てあげることから始まるのだと思います。

再び星空の話です。☆☆☆

星空本来の美しい姿は、雲や月の光、建物の灯りなどを無くすることができれば、いつでも見られるかもしれません。それはなかなか難しいことです。

しかし、見えないことと存在しないこととは、全然意味が違います。雲の上、月の遙か向こうには、変わることもない美しい星空があるのだということを忘れることなく、夜空を見上げたいものです。



これからの季節、星空の観察はおすすめかも知れません。
次の新月は、6月27日だそうです。☆☆☆

4年 10才のファーストコンサート

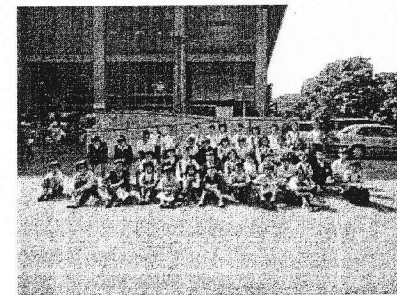
5月28日
高岡市民会館にて

10才のファーストコンサートは、小学4年生を対象としたクラシックコンサートです。オーケストラの素晴らしい音楽に実際に触れてもらうために、20年前（平成6年）から始まり、21回目となる今年は、「オーケストラアンサンブル金沢」の演奏を聴きました。子供たちは本物のオーケストラ演奏の魅力に触れるとともに、公共の場でのマナーや鑑賞の態度を学びました。

すべての楽器が一つになっていい音楽を聴かせてもらうだけでなく、楽しむことや、音楽に「かか」ることを勉強させていただき、これからは、歌をうたうときのせい、口のあけ方を教えていただいたように、音楽の時間もがんばっていききたいと思います。（Gさん）

テレビでは、コンサートは見たことあるけど、はじめてなまでみました。テレビで見るよりはくよくよがあったのすごくよかったです。（Fさん）

「ビリーブ」をきれいに歌えるようにいっしょうけんめいに歌いました。（Yさん）



5年 宿泊学習 in 利賀村

5月29～30日
和紙の里
利賀創造交流館にて

5年生は、新緑のまぶしい利賀村に宿泊学習に出かけました。川のせせらぎ、鳥の声、風に揺れる木々の音…。自然いっぱいの利賀創造交流館とその周辺で、2日間、仲間と共に精一杯活動しました。

* 利賀の伝統を学ぶ



和紙の里での和紙がき作り。
1枚1枚丁寧に作るんだね。

* 仲間との協力「合掌丸山オリエンテーリング」



急な坂道をロープを使って登ったり下ったり、どろんこになりながらゴールを目指したよ。友達と励まし合えてよかったな。

* 自然の厳しさと命のたくまishさを体感「岩魚つかみ」



雪解けの百瀬川の水はとっても冷たいよ～～～！

やった～！捕まえたぞ。手づかみは初めてだよ。

岩魚をさばいて塩焼きにしたよ。岩魚の命に感謝しておいしくいただきました。